

地域・メンタルヘルス領域における 作業療法アップデート研修



【研修趣旨】

精神科作業療法の領域は、従来の医療機関から就労支援、教育、居住の場など地域社会へと大きく拡大している。2004年の国の改革ビジョン以降、「入院から地域へ」の流れは加速し、リカバリーやストレングスモデルに基づいた実践が不可欠となった。一人の対象者を支えるには、病院から地域生活までを一体的に捉える視点と、人権・倫理への深い意識が求められる。そこで26年度当法人では、この領域のトップランナーを講師に迎え、病院実践から地域・就労支援までを包括的に学ぶリレー形式の研修会を開催します。



遠藤 真史

相馬地方基幹相談支援センター拓

「入院から退院へ病院で出来ること・地域の体制整備・行政との協働」



戸田 竜也

一般社団法人SCRAP&BUILD

「外から病院を動かして、地域を繋ぐ」



仲地 宗幸

合同会社 キングコング

就労支援～地域づくり～学生支援～



杉村 直哉

湘南医療大学

「産業精神保健の最新動向：健康的に働くとは」



石橋 仁美

東京工科大学

「ルックスケアから考える作業療法士が用いる作業の意味」



村島 久美子

認知症介護研究・研修東京センター

「認知症支援の現在地」



金川 善衛

NPO 法人日本学び協会ワンモア

「精神病院からの就労支援で院内のOTはどう動けるか/就労支援の現状」



小川 敬之

京都橘大学

「作業療法の社会実装によって描く未来」

時間 / 方法 **19時～21時/ZOOM**

※アーカイブあり

参加費 **早割：5000円**

(8/13まで)

通常：7000円

学生：1000円

全8回パッケージ価格！！

定員 **先着100名**

申し込み・詳細はこちら



主催

NPO法人ルーツ・ユアセルフ

問い合わせ

roots.contents@gmail.com